

第20号  
(令和2年  
7月)



# あいいく

～愛を育み、  
地域とともに  
子育て支援～

発行者  
社会福祉法人  
半田同胞園  
理事長  
北村 正信



法人パノラマ：ブランディングブック

＜住所＞ 〒475-0846 愛知県半田市栄町2丁目22番地

HP <http://dohoen.jp/>

本部・母子生活支援施設 TEL 0569-21-0645 Fax 0569-31-0645

保育所 TEL 0569-24-6645 Fax 0569-24-6654

### ◎令和元年度をふりかえって

理事長 北村 正信

来賓をお招きすることも無く、規模を縮小して行われた「単立ち式」と「入園式」。

ハラハラしながらも我が子の成長を多くの方々に見守っていただく機会でもあつたはずですが新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため例年通り開催することができなかったことは誠に残念であり、また、保護者の皆様にもこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

3月より小中学校が臨時休校になる中、保育所は働く保護者の方のために休むこと無く保育を行い、また、母子生活支援施設においても、自立を目指す母子家庭に24時間寄り添いその支援を行ってきました。改めて、半田同胞園に求められている使命と責任を感じました。また、この期間中は、登園自粛に協力いただいたり、地域の方々からは、感染予防の備品の寄付をいただいたりと半田同胞園としても本当に助かりました。ありがとうございました。

さて、半田同胞園では、一昨年来、

「ブランディング」に取り組んできました。聞き慣れない言葉かもしれませんが、ブランディングとは企業と組織のマーケティング戦略の一つとされ、スローガン「すべては、子どもたちの未来のために。」やシンボルマークの制定もその一環です。今春には、半田同胞園を紹介するパンフレットを一新し、今年中にはホームページをリニューアルする予定です。これらのブランディングは、半田同胞園の魅力を正しく内外に向けて発信し、利用者や地域の方々に信頼される半田同胞園であることを伝え、そしてここで働く職員においては、日々のモチベーションを高め、組織としての活性化と求心力の向上を目指しています。また、将来ここで働きたいと思う方に向けても半田同胞園を伝える手段となっています。



### ◎「同胞」・「愛」園章が未来へとつなぐ

監事 近藤 敏通

「同胞」とは、辞書によると兄弟姉妹とか同じ主義を持つ仲間の意味。私たちの世代では「はらから」と呼んでしまう。

に「寅さん」で有名な山田洋次監督が作った映画の題名だ。当然主人公は「さくら」役の倍賞千恵子。映画の内容はすっかり忘れてしまったが主題歌の『ふるさと』（あの『ふるさと』とは違う）は今でも時折口ずさむことがある。

半田同胞園に監事としてお邪魔させていただくようになって多分10年位経つ。半田同胞園の名前と園章の由来がわからなかった。今回この稿を担当させていただき恥ずかしながら初めて知った。昭和19年4月に伊藤要三先生が創設され、いろいろあつて昭和24年6月恩賜財団愛知県同胞援護会の経営になったとある。「恩賜財団」とは天皇家からの援助で設立されたという意味であろう。「同胞援護会」とは戦没軍人の遺族、傷病軍人やその家族を援護する事業を行っていた団体のような。従って「同胞」とはこの団体の名前に由来している。園章に菊の御紋を使っている意味も「天皇家」との関連で合点がいく。次にこの菊の御紋の真ん中に「愛」という文字がある。これも不思議だ。もともと「愛」という文字があつたのかそれとも当時の方々の思いで「愛」という文字を入れたのか。後者とすれば（そうあって欲しいが）その思いがじんじん迫ってくる。後にこの事業に携わる者たちへの強烈なメッセージを感じる。この園章を見るたびに下手なことは出来ぬと身も心もピシッとする。

半田同胞園保育所(保育所)

定員 280名

職員 園長1名・副園長1名・主査2名

保育士37名・保育補助4名・延長保

育士(補助含め)26名・調理員6名・

看護師1名・事務員1名

※令和2年4月1日現在

◎ 新型コロナウイルスで始まった新年度(2年度)

保育所園長 水野 節

今年度は267名の子どもたちでスタートいたしました。しかし、新型コロナウイルスの感染予防のため入園式、進級式も従来のような開催が出来ず、ホールには新入園児のみで行うこととなりました。

66名の新入園児と保護者(2名に限らせていただきました)の方にご出席いただき、ご挨拶をさせていただきました。その後は各クラスで進級園児と一緒に担任からクラス運営についてお話をさせていただきました。保育が始まった後も登園自粛要請が出るなど今年度の行事も中止や延期が続きました。

登園自粛要請が続いていたため、全員がそろったのも6月に入ってからとなりました。久しぶりの登園で、「ならし保育(短時間保育)」を、改めて始める保護者の方もいて、まだまだ通常の保育になるまで時間がかかりそうです。

園庭には、各学年で育てているナス、ピーマン、キュウリなど色とりどりの野菜が育ってきています。保育所は食育にも力を入れており、子どもたちは自分

たちで育てた野菜をおいしくいただいています。家庭では苦手な野菜も、自分で育てたものはお店で買ったものとは違うようで、苦手な野菜もおいしく食べるこ

とが出来ます。子どもたちの「出来る」ことを増やしていくような取り組みを行い、子どもたち「保育所って楽しい」を感じてもらえるように進めていきたいと思います。

◎ 令和元年度保育所 活動報告

令和元年度の重点項目については、毎年中身を充実させるよう職員で話し合いを行い、子どもたちの成長が感じられるよう取り組んできました。

○ 保護者の協力のもと、早起き・早寝・朝ごはんの生活リズムを整えていく。

毎月初めの一週間を「キラキラ週間」として、保護者の方にご協力をいただき、生活習慣を身につけるための取り組みを行っています。保護者評価(アンケート)から、キラキラ週間の項目を見直し、子どもたちが無理なく取り組めるようなものに見直しをさせていただきました。

○ 「柳沢運動プログラム」さくらさくらんぼリズム」を各年齢の発達に合わせ

て遊びの中で取り入れ、運動能力の発達を促す。0歳児から5歳児まで継続的に保育の中に取り入れて実践しています。年長児は「朝トレ」と称して室内の雑

巾がけや鉄棒のぶら下がりなどを行っています。その結果、運動会の竹馬歩行で全員完歩することができました。今年度もホールでは、乳児の子どもたちもさくらんぼリズムの練習を楽しく行っています。

○ 園内・園外研修に積極的に参加し、保育の質の向上を図る。

改定された保育指針について、前年度に続き、園内研修としてグループワークを行いました。職員同士で保育について話し合うことにより、共通理解を得ることができました。年度末には、グループごとに、寸劇などそれぞれ工夫を凝らした内容で発表会を実施いたしました。

○ 防災教育の更なる充実を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境作りに努める。

避難訓練を毎月実施しております。また、延長保育時間や土曜日の保育時間にも実施し、万々に備えた準備を行っています。元年度の中では、地震による避難訓練の際、あるクラスの行動をビデオで撮影を行い、終了後の反省会に活かしました。

○ 子どもからも保護者からも信頼される保育士になる。

保育士が信頼されることは、保育所運営の基本としており、毎年度実施している保護者による保育所評価について、全項目において、達成基準

の80%を上回る評価を頂きました。今後もさらに信頼を得るよう努めて参ります。

○ 元氣よく挨拶のできる子どもたちの育成を図る。

職員が率先して挨拶を実践する事が重要と考え、子ども、保護者、来訪者に対して積極的に挨拶を行っています。職員が意識をすることで園に活気が出てきました。

◎ 令和元年度の保育行事等

○ 分園でスタートしました(0歳児ひよこ組)

保育士 氏原好美

昨年完成した「みらいてらす」での0歳児。広いお部屋を遊び、食事、睡眠のスペースに仕切り、毎日ゆったりと過ごしています。

お部屋に隣接されたテラスでは、砂遊びや水遊びを楽しんだり、電車に手を振って元気に遊んでいます。また、サロンに来てくれるおじいちゃんやおばあちゃん

に声をかけてもらい、タッチをして触れ合い、地域の方とのつながりも感じます。



0歳 ひよこ組の様子

子どもたちがゆったりと過ごせる、保護者の



方が安心して預けることができる「みらいてらす」を築いていけたらと思います。

○防災訓練について

保育士 高松 久美

半田同胞園保育所では、月に一度避難訓練を行っています。昨年度、2歳児うさぎ組では、放送の音に泣けてしまっていた子ども、少しずつ慣れていき、自由遊びの中に「緊急事態」と子どもの一声から、訓練が始まるほど定着していくことができました。



避難訓練の様子

今年度は、0歳児ひよこ組の担任となり6人の保育者でしっかりと役割分担をし、声を掛け合いながらチームワーク良く子どもたち、そして保護者自身の身を守るように訓練に臨みましたと思います。いつも何が起こきてもおかしくないという危険感を持ち、日々の保育にありたいと思います。

○本物に触れる(ラグビーの選手が来ました)

保育士 市田 透

「本物にふれる保育」の一環として昨年度はプロラグビー選手が来園

しました。間近に見る鍛えられた体に圧倒される子どもたち。その大きな体をみんな引く張る競争や本物のボールを使ったボール運びを楽しみました。給食の時間には、大きな秘訣を聞くなど会話も楽しみなながら交流することが出来ました。それからラグビーブームも起き、本物さながらのラグビーを楽しむ子どもたちの姿がありました。その年の話題に興味を深め、触れたり、プロフェッショナルを間近で体験できる「本物保育」。今後もこのような機会を企画し、子どもたちには、様々な体験を積み重ね成長していつてほしいと思います。

◎今年度(令和2年度)に新しい仲間となった職員を紹介します



保育士 山本 亜紀

半田同胞園保育所にパートとして勤務させていたから約6年。3人目の子どもが小学校を卒業したのを機に正規職員として働く決心をいたしました。短大卒業してから保育士として働き始め、結婚、出産などを経て、その時に応じた働き方で保育という職に携わってきました。四季の変化を共に子どもの成長を感じることでできる保育士という仕事はとても魅力的で、歳を重ねる毎に素晴らしい仕事だと感じるようになっていきました。これからも研修などを

通し日々勉強する中で、より良い保育が出来るよう努力していきたいと思えます。



保育士 山口 綾子

今年度から正規職員になり、心新たに頑張りたいと思っています。

5年間臨時職員として保育所でやってきた経験を活かしながら、保育士としてのスキルを研修などに進んで参加し、学んでいこうと思っています。そして、学んだことを保育の中にも活かしながら、子どもたちが毎日「楽しいな」「保育所に行きたいな」と思ってくれる保育をしていきたいです。また、クラスの子どもの小さな発見を大切に、ともに成長できる一年間を過ごしていきたいです。



保育士 日高美保

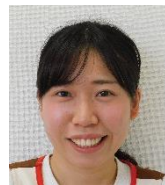
今年度から正規職員として採用していただけることになりました。正規職員として責任をもって保育に取り組みでいきたいと思っています。

今年度は年少クラスの担当としてクラスを受け持たせていただくことになりました。昨年度は乳児クラスだったので、今年度はまた一日の保育



遠足(ビーチランド)

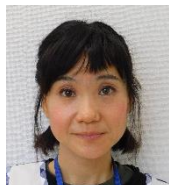
園での動きが昨年度とは変わってきます。しかし、クラスの一人ひとりの子どもたちの話を丁寧に聞いて、保育することを楽しみながら笑顔のあふれるクラスづくりを心掛けていきたいです。



保育士 生田 美沙華

今年度よりお世話になります。2歳児こあら組の担任をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

幼いころからの夢をかなえ、とても充実した日々を過ごしています。子ども一人一人の思いや欲求を受け止め、安心して過ごせるよう心がけていきたいです。初めての経験ばかりで至らない点も多いと思いますが、子どもたちが、「明日も保育園に行きたい。」と思えるように一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



保育士 寺尾 暲

今年度より、半田同胞園保育所で働かせていただくことになりました。お子さん

一人ひとりと真摯に向き合い、暖かく受け止めていくことで、安心して保育園に通って欲しいと思います。その中で、様々な感動や体験を積み重ね、お子さんとともに、私自身も、豊かな心へとつながり、成長していけたらいいなと思っています。毎日楽しく、元気いっぱいよく遊び、よく学び充実した

日々を過ごしていけるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。



**保育士 榊原 帆並**  
9月までの短い期間になりますが、フリー保育士と延長保育の担当としていろいろな学年に入らせていただくことになりました。

前職で保育士の経験はありますが、新しい環境でいろいろな学年で他の先生方の保育も見られる機会もあるので、また一から勉強させていただければなど思っています。  
たくさんの学年、クラスの子どもたちと関わる中で、子どもたちの気持ちに寄り添い、思いっきり遊んで楽しい・嬉しい気持ちをとくさん共有できるように保育をしていきたいです。



**保育補助 森本美翔**  
今年度よりお世話になります保育補助者として働くのは初めてなので、毎日右も左も分からない状態で何とかやっています。子どもたちの明るく元気な姿に、私も自然と笑顔になります。そんな、子どもたち一人ひとりに寄り添い、きちんと心の声を聴いて、一緒に考えられるような、そんな保育士になりたいと思います。  
未経験者なので、ご迷惑をおかけすることもありますが、精いっぱい頑張ります。

張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

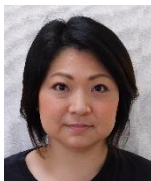


**調理員 竹ノ内 千エミ**  
調理員の仕事を約6年、4月から正規職員として勤務することになりました。新しく

関わる業務も増え、今まで以上に気を配り、責任をもって業務に取り組んでいきたいと思っています。  
園では、積極的に食育に取り組んでいます。私自身も椎茸栽培に挑戦しました。毎月成長を観察し、収穫していただく。愛情込めて育てた食材は、なぜかおいしく感じます。  
本年度も安心、安全、おいしい給食を提供していきます。よろしくお願ひいたします。



焼き芋会



**調理員 光永 真弓**  
子どもたちが半田同胞園保育所に通わせていただいているご縁もあり、4月から給食室で働かせていただいています。  
毎日が勉強することばかりですが、先輩方にいろいろな教えていただきながら楽しく働かせていただいています。  
子どもたちに「ごはんおいしかったよ！」

と声をかけてもらえると本当にうれしく、もつと頑張ろうという気持ちになります。子どもたちがもつとおいしく楽しい給食になるように頑張りたいと思います。

◎ 大空会(保護者会)の活動の様子  
「一年間を振り返って」

**令和元年度会長 光永 真弓**  
前年度の会長さんからの勧めもあり、令和元年度の会長を務めさせていただきました。初めての事ばかりで、私に務まるのかとても不安でしたが、大空会実行部のメンバーと協力し合い、子どもたちに何ができるか、何をしたら喜んでもらえるかを考え話し合いをしながら、活動をさせていただきました。  
初めてのイベントの夏祭りは猛暑が予想されたため、時期を早めてミニ夏祭りにさせていただきましたが、皆様が参加してください、本当に嬉しかったです。運動会も大空会会員の皆様、先生方のご協力で、楽しい競技ができました。  
成岩第四区資源回収、園内資源においても多くのみなさまのご協力により収益も得ることが出来とても感謝しております。卒園イベントは子どもたちが喜んでくれる行事を計画していましたが、新型コロナウイルスのため中止させていただきました。本当に残念でした。大空会の活動にご理解とご協力、ご支援していただいた先生方、地域のみなさま、大空会会員のみなさまには感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

◆令和2年度大空会会長は「下田 敦子さん」に決定いたしました。一年間よろしくお願ひいたします。

◎ 半田同胞園保育所内での特別保育事業実績

- ・ 延長保育事業 月平均 2,213人 (日平均 早朝 39人、延長 109人)
- ・ 一時保育事業 年間延 1,651人
- ・ 園庭開放(毎週月曜日) 242組 550人
- ・ 子育てサロン(毎月2・3・4の月曜日に地区の民生・児童委員さんのボランティアによるびよんびよん村、ふれあい広場(同胞園ホール) 124組 255人

子育て支援事業(半田市委託) (半田市民交流センターでの実施)

平成18年度から、子育て支援センター内で、乳幼児一時預かり事業及び親子で遊ぶプレイランドの実施。14年目の委託。  
職員 子育て指導員 13名  
※令和2年4月1日現在

◎ 子育て支援事業

- ・ 開館時間が9時30分からになり4年目を迎えますが、まだ9時に来て開くまで待つてくれている親子もいます。
- ・ 今年度からパスポートセンターが出来た事により、申請に来た際、「はんだっこ」を知ってもらい、待っている間利用される方が沢山いました。
- ・ みんなであそぼう 縁日(こ)では、利用者の方から、「職員の方が大変です



があり、1人で長時間利用の子もいれば、人数は多いが、短時間利用の子ばかり



図書コーナー・貸し出し図書

ては利用の人数や時間の差

・曜日によつては利用の人数や時間の差があり、1人で長時間利用の子もいれば、人数は多いが、短時間利用の子ばかり

◎ 幼児一時預かり事業

・ゴールデンウィーク等土日祝日が続き、前半は祝日でも仕事の方が多く、後半になると親の休息で利用される方が多かった様に思います。「ホッ」と出来る時間も必要だと思つたので、気軽に利用できる場所として安心して預けてもらえる様にしていきたいと思つています。



みんなで遊ぼう・縁日ごっこ

よね。休みとれてますか？月1回の休みでこちらは助かつてます。このような企画は続けてほしいです。』

区分(単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プレイランド利用者数(人)	2,969	2,970	3,732	4,120	4,039	4,195	3,756	3,033	2,949	3,069	2,827	0	37,659
レツトライ1・2・3参加者数(組/人)	27 65	22 47	38 81	35 79	42 100	44 94	46 100	42 91	37 79	28 63	37 83	0	398 882
リズムで遊ぼう参加者数(組/人)	22 54	36 77	39 83	28 61	41 85	41 88	27 62	33 71	22 50	12 26	37 80	0	338 737
みんなで遊ぼう参加者数(組/人)	27 55	28 61	43 97	52 108	90 194	34 72	88 193	39 81	76 156	34 74	41 96	0	552 1,187
相談件数(件)	38	36	33	32	28	34	44	37	32	32	31	1	378
乳幼児一時預かり利用者数(人) 延べ時間数(時間)	195 633	146 601	165 703.5	178 686	152 629	149 557	172 682.5	164 646.5	174 660.5	165 664.5	185 838	131 585	1,976 7,886.5

◎ 子育て支援事業及び乳幼児一時預かり事業の実績状況

りの時もあります。また、早朝からの利用や、夕方からの利用の子もあり利用形態は様々です。

半田同胞園(母子生活支援施設)

定員 20世帯(サテライト5世帯)  
職員 施設長1名、主査1名、被虐待児個別対応職員1名、母子支援員2名、サテライト母子支援員1名、少年指導員3名、心理担当職員1名、事務員2名、特別指導員1名、サテライト補助員2名、嘱託医1名、計16名

※令和2年4月1日現在

◎ 令和元年度 母子生活支援施設 事業報告 施設長 鷲野林平

令和元年度の重点努力目標についての取組結果を報告します。

◎ 全体テーマ

「新しい社会的養育ビジョン」に基づく「都道府県社会的養育推進計画」に母子生活支援施設が有効活用されるように「現場の声」を届けるため、愛知県福祉局の担当職員の方々と愛知県下8母子生活支援施設職員との意見交換会を開催することができました。しかし、年度末に策定された「愛知県社会的養育推進計画(あいちほぐみんプラン 2020-2024内)」に母子生活支援施設に関する記述は多くありませんでした。引き続き、母子生活支援施設の積極的な活用について「現場の声」を届けていく必要があります。

「ならわの縁がわ」においては、夏休み期間中に施設利用児童を対象に「ミニ夏祭り」を開催することができました。今後、さらなる有効活用を検討していきたいです。

◎ 利用者支援  
利用者との信頼関係の構築及び関係機関との連携により、個別な関りに努め、問題解決を進めました。しかし、職員、施設に対しての苦情、要望、意見は年間9件あり、この点については、職員全員で共有し改善に努めていかなければなりません。

また、退所後支援においては、「新型コロナウイルス感染症」の影響で、経済的にも精神的にも不安を抱えながら生活している退所者からの相談もあり、今後、施設として、緊急事態時への備え、また、実際に施設として何が出来るかを検討する必要があります。

◎ 職員育成・連携  
児童養護施設等職員処遇改善における、スキルアップ研修については、該当職員の受講を計画的に進めることができました。

また、昨年度同様、半田市等が所管する各種会議へ主査、被虐待児個別対応職員等が参画し、国の動き、地域の実情等、幅広い情報、知識を得る機会とすることができました。さらに、他の関係機関の職員との交流もでき、協働して行事を実施することもできるようになりました。

◎ 一時保護及び地域支援  
緊急一時保護事業については、愛知県との相談機関と委託契約を結び、事業実施をしました。年間の利用件数は7

件で、利用期間は7〜28日でした。

子育て短期支援事業については、半田市、知多市、東浦町、刈谷市と委託契約を結び事業実施をしました。相談は数件ありましたが、子どもの年齢(0歳児)等の理由で対応できず、年間4件で利用は半田市からの依頼のみで、元施設利用世帯の子どもたちでした。

「ならわの縁がわ」において、ならわ思いやり隊のみなさんの運営による「高齡者サロン」は週2回の開催で1日平均15〜20名の利用があり盛況でした。年度末は「新型コロナウイルス感染拡大予防」のため中止せざるをえませんでした。また、「身近な相談窓口」については、社会福祉協議会等との連携の中で実施に向け検討をしましたが実施には至りませんでした。

◎令和元年度の施設の入所状況

本体施設の入所状況は、月平均約18世帯、児童数は月平均約29人(乳幼児14人、学童等15人)、また、小規模分園型(サテライト型施設)の入所状況は月平均約4世帯、児童数は月平均約12人(乳幼児1人、学童等11人)でした。新規入所世帯は10世帯で、入所理由のすべてが夫等からの暴力でした。退所世帯も10世帯(小規模分園型施設からの1世帯含む)でした。退所理由は、様々な問題が解決でき、日常生活・身辺・精神的な自立の見込みが立ったケースが7世帯、本人の希望で実家に帰ったケースが2世帯、他の施設へ移管したケースが

1世帯ありました。

緊急一時保護の受入れは7世帯で昨年より多くなりました。延べ利用日数は101日で、保護期間は3日間と短いケースもありましたが28日間と1か月近くのケースもありました。

近隣市(半田市・知多市・東浦町・刈谷市)からの受託事業としての子育て短期支援事業は4件、延べ8人の受入れをしました。

母親の就労支援や育児支援の一環としての補完保育等は、年間延べ121件でした。昨年度の577件から減少しました。内訳は、祝日保育が65件、補完保育が53件とほとんどを占め、昨年度、391件あった待機児童保育は0件でした。

◎令和元年度の施設行事等

全体行事は、母の日にちなんだ「母に感謝の集い」、「南知多ビーチランド&おもちゃ王国」にバスを利用して行った「親子お楽しみ会」、「年忘れ会」、「新年会」、「節分会」を開催しました。恒例の「退所者同窓会」は3月に予定していましたが、「新型コロナウイルス感染症拡大予防」のため中止としました。遠方から久しぶりに来てくれる予定の母と子もいましたが残念でした。母親行事は、「健康体操」を3回開催し、母と子の健康増進の機会となりました。



乳幼児行事として、季節感を大切にしながらの「七夕会」、「七五三」、「ひな祭り会」を開催し、それぞれ母と子で記念撮影をしました。みんなとてもいい表情でした。

児童行事は、自然にふれあうための「つり大会」、「キャンプ」等を開催しました。キャンプは例年、「愛知健康の森」で実施していましたが、今年度は、「美浜少年自然の家」での実施となりました。キャンプファイヤーはもちろん、海水浴も楽しむことができました。さらに「ならわの縁がわ」での「ミニ夏祭り」、高齡者、障害者施設での「和太鼓演奏」など、新しい試みもできました。どの行事も児童にとつていい経験になりました。恒例のJAボランティアの皆さんとの「ならわの街の散策」は「新型コロナウイルス感染症拡大予防」のため中止となりました。

これらの行事、イベント等とおして、JA職員のみなさんはじめ、日本福祉大学、名古屋短期大学等の学生のみなさんのご参加、ご協力をいただき、地域のみなさんとの交流を深めることができました。

将来、福祉関係職員、保育士等を目指す大学生・短期大学生等の実習の受け入れは、年間を通して29名の受け入れをしました。また、夏休み期間中には社会福祉法人中部善意銀行様から紹介いただいた高校生のボランティア体験活動として9名の受け入れをしました。最後に、地域のみなさんから衣類、書籍、食料品、お菓子等、たくさんのお付をいただいております。また、ミュージ

カル等への招待もいただきました。施設で生活する母と子はとても喜んでいました。本当にありがとうございました。今後ともご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。

○「ミニ夏祭り」

少年指導員 田浦奈々

小学校の夏休み期間中の8月20日、「ならわの縁がわ」で「ミニ夏祭り」を開催し、母子生活支援施設に入所中の小学生児童が参加をしました。昨年度は猛暑のため保育所の夏祭りが早い時期に行われたこと、地域で開催される盆踊りが中止となったこともあり、児童にこの夏の時期に経験してもらいたい、また「ならわの縁がわ」を児童の中で身近なものにしていき、児童支援の中で積極的に活用できるようにしていきたいという想いから計画をしました。

お知らせをすくすく、児童からは普段と違う環境での活動に「何をやるんだらう、楽しみ。」「かき氷はイチゴ味がいいなあ。」などの声があり、楽しみにしている姿がありました。当日は定番の「わたがし」、「かき氷」、「ポップコーン」のおやつコーナー、ミニゲームのできる「わなげコーナー」を用意し、会食中には壁掛けテレビで映画の鑑賞ができるようにしました。

今回は退所児童も1







「おいしいわたがし…作ってよ！」

名ボランテ  
イアとして  
参加をし、  
児童との交  
流を楽しみ  
ました。映  
画の感想を  
言い合いな  
がら食べる

子、何杯もおかわりをし、「不思議な味？」のかき氷を作っている子、わなげが思うように入らず悔しがっている子。児童は配ったチケットを持ち、それぞれのブースを周って「本物」のお祭りであるかのように楽しんでる様子がありました。普段見られない児童の姿や笑顔を見る事ができ職員も嬉しかったです。

「ミニ夏祭り」以降も、「ならわの縁がわ」はDVD鑑賞やゲーム大会、たこ焼き大会など児童行事の場としても定期的に活用をしています。今後も下校後支援、学習支援、遊びの場として有効に活用し、児童のためにより良い活動・支援を行っていきたいと考えています。

○「チーム だだだ だん」

和太鼓披露

少年指導員 市野淳巳

半田同胞園では毎月の隔週木曜日に外部の講師を招いて、児童と職員が「和太鼓」の練習を行っています。この練習の成果は、「保育所夏祭り」、「半田同胞園展」のオープニン

グで披露していました。今回、児童が障害者施設、高齢者施設のイベント等に招待され、披露する機会をいただきました。

きっかけは、月に1回行われている他機関連携(社会福祉協議会、障がい者施設、高齢者施設等)の会議の場で、施設の活動として太鼓の練習を行っていることを報告したことからでした。その後、障がい者施設の職員の方から、9月の秋祭りのご招待と和太鼓の演奏の依頼をいただきました。児童にとつて、外部での演奏はほとんどなかったため、演奏の依頼があったことを伝えると、喜ぶ児童もいれば、上手に演奏できるか心配で困った表情をする児童もいました。

すっかり練習し、当日を迎えました。児童の思いは様々で、緊張の声もあれば、演奏を楽しみにしている声も



「そーれー!!」ドンドコ♪  
どんどこ♪

聞きました。演奏が始まると最初は表情も硬く声も小さかったですが徐々に堂々と自分たちの演奏をする事ができました。施設の利用者さんも演奏が始まると和太鼓の大きな音にびっくりされる方が多かったです

が、すっかり聞いて頂きました。演奏終了後、児童に声を掛けると「ほっと」一安心した様子で、またやりたいという児童が多かったです。この演奏を皮切りに10月、11月と連続で障がい者施設、高齢者施設からも演奏の依頼を頂きました。10月の障がい者施設での演奏の時は、一度経験をしたこともあり、最初から勢いのある演奏をすることができました。施設の利用者さんの中から、手拍子をしてくれる方や演奏に釘付けになる方、さらには、11月の高齢者施設で演奏の時には涙を流している方もいらつしやいました。

今回、障がい者施設、高齢者施設に初めて訪問する児童がほとんどでした。3回の演奏を通じて、他機関との関わりが増えたことは勿論、児童も様々なことを学ぶ機会ができたと思います。

○カルチャースクール

「レッツ健康体操！」

特別指導員 沢井美子

カルチャースクールとして親子で行える「健康体操」を3回行いました。講師は「半田市健康づくり協議会」リーダーの磯貝雅代先生、若々しいはつらつとした先生です。

「体操」は19時から始まり、母は仕事を終わってからになります。母と幼児が主でホールで音楽に合わせて手をつないでかけまわったり、ストレッチをしたり、ボールを使っ

て体を動かし1時間を過ごしました。普段、運動をすることがほとんどない



いち!にー!いち!にー!

いけないお母さんですが、仕事の疲れも忘れ、子どもと一緒に楽しんでいました。子どもが複数いるところは職員がペアになり、職員も久々にか

◎今年度(令和2年度)に

新しい仲間となった職員の紹介

少年指導員 山田菜月



今年度より、半田同胞園母子生活支援施設で少年指導員として勤務させていた

半田同胞園に来てから3か月が経ちましたが、利用者の皆さんとの関わりを通して日々学ばせていただいています。社会福祉士として、少年指導員として、母子の最善の利益のためにできることを常に考え続け、子どもたちの成長を見守りながら自分自身も成長していけるように学び続けていきたいです。よろしくお願

社会福祉法人 半田同胞園(法人)

春の叙勲・褒章に輝く

瑞宝単光章 受章

元職員 伊藤位久子様



令和2年「春の叙勲・褒章」で、社会福祉功労により瑞宝単光章を受章されました。

伊藤位久子氏は、法人のある成岩地区の民生委員・児童委員を長年務め、母子生活支援施設での困り事も気軽に相談のつていただきました。

栄養士でもある伊藤さんには、以前調理員の産休代替や求人でも困った時、臨時調理員として6年間程勤務して頂きました。また、母子生活支援施設の母親の毎月の会合に手軽に作れる夕食(試食)やレシピを作ってきてくださり、母親たちもとても喜んで教わり、お世話になりました。

今年の杉浦勝子さんに続き、当法人にとつて大きな誇りであり、その功績に敬意を表し、お祝い申し上げます。

役員等紹介

令和2年7月1日現在
役員(理事7名・監事2名)

顧問 水野 八洲男

理事(理事長) 北村正信

水野源次・穴戸洋子

手島寿宏・大塚 清

水野 節・加来昭子

加来昭子 令和2年7月1日就任

近藤敏通・二宮公平

監事監査 令和2年5月22日実施

評議員(8名)

酒井なつ江・杉浦勝子・鈴木一郎

向井克子・小坂和正・市野忠幸

水野邦夫・松見直美

水野邦夫 令和2年7月1日就任

松見直美 令和2年7月1日就任

高木勝弘 令和2年6月30日退任

評議員選任・解任委員(3名)

杉江道城・二宮公平・鷲野林平

選任解任委員会

令和2年6月5日開催

令和2年6月15日開催

第三者委員(2名)

酒井宏造・和田さとみ

和田さとみ 令和2年7月1日就任

加来昭子 令和2年6月30日退任

第三者委員会

令和元年7月12日開催

評議員会の状況(年2回)及び議題

令和元年6月21日 ※全て承認

平成30年度法人事業報告案

平成30年度収支決算書等案

法人定款の一部改正案

理事(第29期)選任案

監事(第29期)選任案

平成元年11月15日

(報告事項のみ)

令和元年度上半期事業報告等

理事会の状況(年7回)及び議題

令和元年6月7日 ※全て承認

平成30年度法人事業報告案

平成30年度収支決算書案

法人定款の一部改正案

定時評議員会の招集案

令和元年6月21日 ※全て承認

理事長(第29期)及び業務執行

理事選任案

顧問(第29期)選任案

第三者委員(第29期)選任案

令和元年度法人資金収支補正

予算案(第1次)

令和元年10月18日 ※1号の

内容を一部改正して承認、他は承認

運営規程(保育所・母子生活支

援施設)の一部改正案

就業規則の一部改正案

経理規程の一部改正案

令和元年度法人資金収支補正

予算案(第2次)

令和2年2月21日 ※承認

令和元年度法人資金収支補正

予算案(第3次)

令和2年3月25日 ※全て承認

令和元年度法人資金収支補正

予算案(第4次)

令和2年度法人事業計画案

令和2年度法人収支予算案

就業規則2の一部改正案

職員の採用・退職状況

(※ 非常勤採用)

退職 (令和元年度末)

保育所 保育士 小倉 有香・竹内佳

代子・石井沙也香 保育補助 ※柏

原つぐみ 調理員 ※伊藤位久子

母子生活支援施設 母子支援員 ※

細川修子・サテライト補助員 ※榊

原峰子

(令和元年度途中退職)

保育所 延長保育補助 ※太谷 仁・

山田紗希・永井のり子・榊原綾花・佐

藤 茜・井上智尋・畠 虹穂・安江穂

乃佳・今枝寧々

母子生活支援施設 少年指導員 大

川真依・特別指導員 ※加藤葉子

子育て支援事業 子育て指導員 ※

榊原優公

採用 (令和2年4月1日以降)

保育所 (正式採用) 保育士 山本

亜紀・山口綾子・日高美保・生田美沙

華 ※保育士 寺尾 瞳・榊原帆並・

保育補助 ※森本美翔・調理員等

竹ノ内チエミ ※光永真弓

母子生活支援施設 (正式採用) 少年

指導員 山田菜月 サテライト補助

員 ※嶋崎 幸子

(令和元年度途中採用)

保育所 調理員 ※伊藤位久子 延

長保育補助 ※山田紗希・山脇容子・

永井のり子・榊原綾花・井上智尋・川

端まみ・安江穂乃佳・渡邊 理恵・今

枝寧々



母子生活支援施設 ※母子支援員  
細川修子  
子育て支援事業 子育て指導員 ※  
垣下真琴

◎同胞園ならわサロンの実施状況

◆ならわ思いやり隊さんが行う、

地域の高齢者の方へのサロン事業

場所 みらいてらす(分園)

「ならわの縁がわ」にて



地域のひとり暮らしの老人等、高齢者の憩いの場を作るため、「ならわ思いやり隊」の皆さんで、令和元年度より週2回(火曜日・木曜日の午前中)の実施となり、多くの高齢者の方の憩いの場となりました。

・実施状況 平成28年11月より実施  
・令和元年度 実施日数 73日  
延べ1,378人参加(昨年より370人増加)  
※1日平均18.9人

◎御寄附の状況

法人

坂文種報徳会様(金40万円)、  
株式会社ファミリ様(金39.12万円)

母子生活支援施設

◆義援金：社会福祉法人愛知県共同  
募金会・報道機関7社様(10万5百  
円)

◆現金：竹内廣治様(1万円)

◆食料品等：丸山清孝様(米40kg)、  
安井様(サラダ玉ねぎ20個)、市野利  
春様(各種野菜多数)、竹部様(玉ねぎ  
150個、ヤングコーン60個)、サイバーパチ  
ンコ乙川店様(お菓子多数)、西成岩地  
区同年会様(焼きそば200食分)、瑞  
鏡寺様(お菓子多数)、匿名様(非常用  
保存食5kg)、小伊達直人様(米引換  
券50kg分)、澤田達宏様(米120kg)、お  
いしい村様(助六寿司、巻き寿司、肉ま  
ん多数)、杉浦秀則様(みかん25箱、バ  
ナナ24袋)、リヴェールニッ坂 久村俊弥  
様(冷凍ケーキ多数)、ハッピーサンプラ  
行委員会様(お菓子詰め合わせ43個)、  
カーブス半田住吉店様(食料品多数)、  
カーブスC・フェスタ半田青山様(食料品  
多数)、半田市商店街連合会(ひなまつ  
り菓子72個)、有限会社登喜宮様(全  
世帯に夕食64食)、株式会社さんわか  
ーポレーション様(鶏肉7kg)、名糖産  
業株式会社様(クリスマスチョコ&キャンデ  
イ38個)、観音屋様(豆腐、厚揚げ多  
数)、高橋直紹様(お菓子多数)

◆日用品・衣料品等：水寄洋子様(食  
器・子ども用布団・毛布)、有限会社カ  
ジミツ様(衣類、カバン等)、杉江恵子様  
(子ども用衣類)、黒田ベリンダ様(子ど  
も用衣類多数)、戸田光子様(タオル・パ  
ジャマ)、真金正幸様(日用品多数)、  
野口勝弘様(ドリームキャッチャー16  
個)、萩原ひとみ様(書籍・メモ帳多数)、

国民共済COOP愛知推進本部様(縄跳びセ  
ット1セット)、日本ガイシ株式会社総  
務部総務グループ様(使い捨てカイロ3  
箱、除菌ウエットシート10個)、社会福  
祉法人中部善意銀行様(新入学児童生  
徒に学用品セット1個、バッグ・デイバツ  
グ2個)

◆その他：日産労連NPOセンター「ゆう  
らいふ21」様(第44回クリスマスチャリテ  
ィー公演招待)、末日聖徒イエスキリスト  
教会刈谷ワード様(クリスマス慰問)

○寄付物品の一部紹介

「施設の子どものための行事や、貸出物  
として、役立てます。ありがとうございます」  
ました。」

◆日本肥糧株式会社半田工場 様より  
(ホットプレート)3台、プリンター1台、  
かき氷器1台



ホットプレート3台



プリンター1台



かき氷器1台



◆株式会社 東芝中部支社  
東芝創立144周年募金 様から  
(オープンレンジ)1台、炊飯器1台



オープンレンジ1台  
炊飯器1台



保育所

◆大空会(保護者会)様より御寄付：・  
(金5万円 分園建設の祝金として)  
(金12万円 運動会備品購入資金とし  
て)(金10万円 緊急連絡配信システム  
費用補助として)(金27万円 保育用備  
品購入資金として)

◆物品等：さざれ会 代表 嶋田繁  
子様(ヤマハデジタルキーボード1基)  
尾張製煎合資会社 榊原総一郎様  
(麦茶 360g×20箱)、市野利春様(各  
種野菜多数)

◎苦情の対応について(元年度)

母子生活支援施設 件数9件

◆苦情の対象別件数

①職員 8件

②施設 1件

保育所 件数8件

令和 元 年度の法人の経営状況(総括表)

令和2年4月1日  
社会福祉法人半田同胞園  
第三号の一様式

1. 法人単位の資金収支の状況 第一号の一様式  
(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	21,763
①事業活動収入	423,931
・児童福祉事業収入	101,437
・保育事業収入	315,840
・太陽光発電用土地賃借事業収入	200
・借入金利息補助金収入	20
・経常経費寄付金収入	1,731
・受取利息配当金収入	5
・その他の収入	4,698
②事業活動支出	402,168
・人件費支出	347,006
・事業費支出	35,134
・事務費支出	19,902
・支払利息支出	126
(2)施設整備等資金収支差額	▲5,701
①施設整備等収入	1,307
・施設整備等補助金収入	1,307
②施設整備等支出	7,008
・設備資金借入金元金償還支出	5,628
・固定資産取得支出	1,380
(3)その他の活動収支差額	▲10,815
①その他の活動収入	0
②その他の活動支出	10,815
・積立資産支出	10,815
当期末資金収支差額	5,247
前期末支払資金残高	28,687
当期末支払資金残高	33,934

2. 法人単位の事業活動の状況 第二号の一様式  
(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

項目	金額(千円)
(1)サービスマス活動増減差額	2,889
①サービスマス活動収益	418,216
・児童福祉事業収益	101,437
・保育事業収益	315,840
・太陽光発電用土地賃借事業収益	200
・借入金利息補助金収益	20
・その他の収益	1,731
②サービスマス活動費用	416,327
・人件費	349,738
・事業費	35,134
・事務費	19,902
・減価償却費	22,478
・国庫補助金等特別積立金取崩額	▲10,925
・その他の費用	0
(2)サービスマス活動外増減差額	4,597
①サービスマス活動外収益	4,723
・借入金利息補助金収益	20
・受取利息配当金収益	5
・その他のサービスマス活動外収益	4,698
②サービスマス活動外費用	126
・支払利息	126
経常増減差額	7,486
(3)特別増減差額	8,106
①特別収益	9,517
・施設整備等補助金収益	1,306
・その他の特別収益	8,211
②特別費用	1,411
・固定資産売却損・処分損	105
・国庫補助金等特別積立金積立額	1,306
当期活動増減差額	15,592
前期繰越活動増減差額	144,935
当期繰越活動増減差額	160,527
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	7,950
次期繰越活動増減差額	152,577

3. 法人単位の資産等の状況 第三号の一様式  
令和2年3月31日現在

項目	金額(千円)
(1)資産の部	776,121
①流動資産	67,072
・現金預金	43,598
・事業未収金	13,896
・未収補助金	7,900
・前払金	1,678
②固定資産	709,049
・基本財産	574,871
・土地	32,940
・建物	541,931
・その他の固定資産	134,178
・構築物	4,767
・構築物及び装置	6,773
・車両運搬具	35
・器具及び備品	1,030
・建設仮勘定	5,945
・ソフトウェア	176
・退職給付引当資産	726
・施設繰越積立資産	24,341
・施設・設備整備積立資産	62,205
・差入保証金	27,411
・長期前払費用	750
・長期預り金	19
(2)負債の部	158,917
①流動負債	57,896
・事業未払金	29,948
・1年以内返済予定設備資金借入金	6,780
・預り金	10
・職員預り金	2,973
・前受収益	207
・賞与引当金	17,978
②固定負債	101,021
・設備資金借入金	76,180
・退職給付引当金	24,341
・長期預り金	500
(3)純資産の部	617,204
・基本金	29,503
・国庫補助金等特別積立金	345,509
・その他の積立金	89,615
・次期繰越活動増減差額	152,577
・うち当期活動増減差額	15,592
(2)(3)負債及び純資産の部合計	776,121

※詳しくは、社会福祉法人半田同胞園ホームページを参照ください。  
<http://dohoen.jp/>